



## 日本の緑化事情 / 屋上緑化が施す建物寿命の冗長化について

日傘を被せることと類似状態なので、極端な温度の上昇は防げます。温度差も少なく済み寒暖差に

◆ 温度差  
植物やシンボル創作などでは土壤があるので、それらの吸収分解作用などで、酸性雨のダメージを緩和してくれます。

◆酸性雨  
ですから直射日光の紫外線からはほぼ守られます。紫外線カット率100%の日傘と同じですね。

◆紫外線のカット

紫外線・寒暖差による熱膨張と収縮・酸性雨などの多大な要因がコンクリート建造物の寿命を短くしています。肌の日焼けを防ぐには日焼け止めを塗りますが、同じくして、コンクリート建造物に日焼け止めクリームを塗るような事を施せば、日焼け等からコンクリートを守る事が可能です。方法は理論上様々ある事と思います。しかし現実的で費用も多大に掛かりすぎず、相乗効果も期待できるのが緑化です。

望という視点から見ると、施工するための費用やわずかなメンテナンス費用は、建物の寿命を延ばす事で充分吸収できるのではないかと思します。

当然ながら施工には費用が掛かります。また植物によつては定期的なメンテナンスも必要です。

屋上緑化や壁面緑化をする事で、建物への影響を最大限抑止でき、かつ、植物による蒸散

◆コンクリート酸性化  
これは二次的な事になりますが、コンクリートは弱アルカリ性に保持されている為に鉄筋の酸化を防いでいます。が、ひび割れたコンクリートに酸性雨がしみ込むと、弱酸性となってしまいコンクリートの中性化が進んでしまいます。

よる熱膨張と収縮も最小限に抑える事ができ、延命化が可能となります。

## スタッフ紹介

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び  
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願ひいたします。

できる限り再発しないよう担当の営業さんや先輩と相談や情報を共有して問題が起きないよう努力しております。また業務を行う上で知らないことがまだまだたくさん出てきますので勉強の日々を送つております。

貴社が行なった業務に問題がある  
話題や来客対応の他、お客様  
様からのご注文の受注処理、  
注文内容が間違っているか  
のチェック、売上や単価の処  
理です。



ありがとうございます。先輩方が優しく教えてくださるので気軽に質問、相談ができるので助かっています。

 DAINICHI CHEMICAL  
CO., LTD.

●本社  
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702  
●東京支店  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太樓ビル 5F  
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3802

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び  
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

An illustration featuring a woman on the left wearing a large, stylized flower hat with a small sprout labeled 'eco' on it. She is smiling and holding a long, thin stem. To her right stands a man with dark hair, wearing a grey suit jacket over a white shirt and tie. He has his hands raised near his shoulders. To the right of the man is a large, light-colored speech bubble containing the Japanese text '次号も お楽しみに' (Enjoy the next issue too!). The background is plain white.

次号も  
お楽しみに

URL : <https://dainichikasei.jp>

「ウォーターワールド」は、地球温暖化の影響で地表の氷が全て溶け出したことで水面が上昇、陸地は水没し人々は水上生活をしている。というのが背景の映画でした。

街を暫く進むと堰（映画内ではダムと呼ばれていた）があり、その向こう側は足首に水が浸かる程度の浸水状況。高い堰の向こう側は水です。そして、小高いところでは地表が残る場所もあるようで、水面上昇し始めたときにそれらの土地を買い占めた地主が大もうけをしたこと、高い堰のような壁で囲まれ水とは無縁の土地で生活しています。そこはドライランドといわれています。ドライランド、そうウォーターワールドでも使われていた言葉です。

の梅雨時期では低気圧の不安定さから局地的なゲリラ豪雨が各所で発生する事が多く、あつという間に道路が水没してしまうことが少なくありません。それを回避すべく首都圏をはじめとして一時貯留槽などを設け排水のキャパシティを増やそうとしています。

しかし、費用も掛かることから人的被害や経済活動にとても大きな支障が出ると想定される地域での話で、地方ではありません一時貯留槽の設置は進んでいないようです。もちろんこれは日本国内の話であり、世界規模で俯瞰的に見るとほとんどの地域でそういう設備の強化は追いついてはいません。

となると世界的にいわれている地球温暖化の影響とはほど遠いような状況でも、地形や気候の影響では本作のよう

一人一人がそういう危機感をもつて日常社会を送つていけば、もしかしたら最悪の結果から遠ざかっていくのではないかと考えさせられる作品でした。

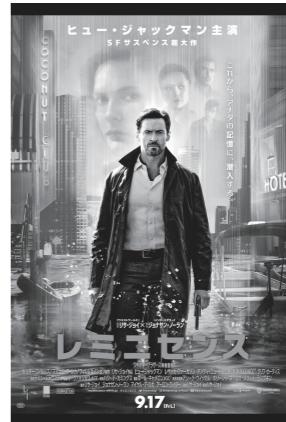
ネタバレになるので詳細には触れませんが、ラストで水面のことと本作の主題的な所を擦り合わせていると思えるところもありますが、全体的なストーリーの流れと水没社会にはあまり関係はありません。もしかしたら通常の社会でも成り立つストーリーかもしれません。

しかし、現実感を伴う半水没社会という設定から現代の環境について連想出来るような、別の視点での見方も楽しめるような作品だと思います。

# 映画で学ぶ 環境問題

# レミニセンス

## 原題：Reminiscence



監督：リサ・ジョイ  
制作：ジョナサン・ノーラン  
リサ・ジョイ  
出演者：ヒュー・ジャックマン  
レベッカ・ファーガソン  
タンディ・ニュートン

上 映：116分  
配 給：ワーナー・ブラザース・ピクチャーズ  
公 開：2021年（日本）

田中はとても暑く人々は夜に活動している。つまり人々の行動が昼夜逆転しているのです。暑さに耐えきれないほどの気温ということは、温暖化の影響で水面が上昇しているのではと想像できます。

な街全体に水が上がってしまうのでは?と思つてしまひます。気候の影響で少なからず起きている事が、なにかのきっかけで限界の一線を越えてしまつと、恒久的に水没するような事態になつてしまふのでは?と。